

# 三浦 綾子 著作一覧

(1998年6月14日 作成・発行：大嶋 義隆) (2007年5月23日 訂正・加筆：田代喜十郎)

西暦 (年)	昭和 (年)	年齢 (歳)	小説 (書名、出版社、月日、頁数、定価)	随筆、他 (書名、出版社、月日、頁数、定価)
1962	37	40		太陽は再び没せず ←新装版「道ありき」 に掲載  (主婦の友社、1/、25p.)
1965	40	43	氷点 (朝日新聞社、11/25、415p.、\380) (文庫：朝日新聞社、'78/5-9/、上:\408、 下:\631) (文庫：角川書店、'82/1/30、上:368p.、 下:371p.、各\460)	
1966	41	44	ひつじが丘 (主婦の友社、12/10、326p.、¥380) (文庫：講談社、'80/9/15、364p.、\544)	
1967	42	45		愛すること信ずること [エッセイ集] ※(講談社、10/30、215p.、¥1,068) (新書：講談社、'72/5/24、¥350) (文庫：講談社、5/、¥631)
1968	43	46	積木の箱 (朝日新聞社、5/25、394p.、¥420) (文庫：朝日新聞社、'78/5-9/、上:\300、 下:\300) (文庫：新潮社、'84/10/、上巻:\476、下 巻:\476)  塩狩峠 (新潮社、9/、\1,456) (文庫：新潮社、'73/5/25、389p.、\514)	
1969	44	47	道ありき (主婦の友社、1/31、306p.、¥1,456) (文庫：新潮社、'80/3/、¥514) (新装版：主婦の友社、'89/12/16、317p.、 ¥1,500)  病める時も (朝日新聞社、10/25、332p.、¥1,100) (文庫：朝日新聞社、'78/5-9/、\583) (文庫：角川書店、'82/8/20、307p.、\505)	
1970	45	48	裁きの家 ※(集英社、5/25、314p.、¥880) (新書版：集英社、'74/11/30、236p.、\430) (文庫：集英社、'77/6/、¥514)  この土の器をも ※(主婦の友社、12/5、243p.、¥980) (文庫：新潮社、'81/8/、¥476)	
1971	46	49	続・氷点 (朝日新聞社、5/25、415p.、¥520) (文庫：朝日新聞社、'78/5-9/、上:\602、 下:\466) (文庫：角川書店、'82/3/、上:\460、\485)	光あるうちに (主婦の友社、12/15、226p.、¥980) (文庫：新潮社、'82/2/25、221p.、\438)

1972	47	50	<p><b>自我の構図</b>  (光文社、7/10、266p.、¥980)  ※(文庫：講談社、'82/4/15、258p.、\408)</p> <p><b>帰りこぬ風</b>  ※(主婦の友社、8/1、¥980)  (文庫：新潮社、'83/3/25、262p.、\476)</p>	<p><b>生きることと思うこと</b> [エッセイ集]  (主婦の友社、6/1、280p.、¥880)  (文庫：新潮社、'83/8/、¥466)</p> <p><b>あさつての風</b> [エッセイ集]  ※(角川書店、11/30、289p.、\980)  (文庫：角川書店、'77/5/30、230p.、\420)</p>
1973	48	51	<p><b>残像</b>  (集英社、3/20、318p.、\700)  (新書版：祥伝社、'73/5/10、362p.、\490)  (文庫：集英社、'77/11/、)</p> <p><b>死の彼方までも</b>  (光文社、12/15、277p.、¥790、980)  (文庫：講談社、'83/4/、\427)</p> <p><b>羽音</b></p>	<p><b>愛に遠くあれど</b> [対談集]  (講談社、4/12、203p.、\950)  ※(文庫：講談社、'81/5/、\369)</p> <p><b>生命に刻まれし愛のかたみ</b> [書簡集]  (講談社、5/2、254p.、\980)  ※(文庫：新潮社、'80/8/、\438)</p> <p><b>共に歩めば</b>  (聖燈社、11/、)</p>
1974	49	52	<p><b>石ころのうた</b>  (角川書店、4/30、315p.、¥980)  (文庫：角川書店、'79/5/25、318p.、\485)</p>	<p><b>太陽はいつも雲の上に</b>  (主婦の友社、11/5、262p.、¥699)  (文庫：講談社、'85/5/、\485)  (新装版：'89/12/22、294p.、\1,400)</p> <p><b>旧約聖書入門</b>  (光文社、12/、\1,262)  (新書版：'74/12/20、283p.、\580)  (文庫：光文社、'77/12/、\829、\514)  (名著愛蔵：'95/10/30、283p.、¥1,300)</p>
1975	50	53	<p><b>細川が<sup>ら</sup>シヤ夫人</b>  ※(主婦の友社、8/1、383p.、¥1,359)  (文庫：新潮社、'86/8/、上巻:\514、下巻:\552)  (新装版：'90/1/31、384p.、¥1,400)</p>	
1976	51	54	<p><b>天北原野</b>  ※(朝日新聞社、3/30、上:3/30、307p.、\780、下:5/20、\740)  (文庫：朝日新聞社、'78/5-9/、上:\300、中:\300、下:\505)  (文庫：新潮社、'85/5/、上巻:\590、下巻:\552)  (新装愛蔵版：'89/2/22、430p.、¥1,800)  (新装版：主婦の友社、'89/12/22、430p.、¥1,800)</p> <p><b>石の森</b>  (集英社、4/25、259p.、¥880)  (文庫：集英社、'79/5/、¥457)</p>	
1977	52	55	<p><b>広き迷路</b>  (主婦の友社、3/1、¥980)  (文庫：新潮社、'87/7/、\514)</p> <p><b>泥流地帯</b>  ※(新潮社、3/25、238p.、\981)  (文庫：新潮社、/、\590)</p>	<p><b>新約聖書入門</b>  (光文社、12/、\1,262)  (新書版：'77/10/20、307p.、\650)  (文庫：光文社、'84/11/、\514)  (ハートカハ-文庫：'95/10/30、307p.、\1,300)</p>
1978	53	56	<p><b>果て遠き丘</b>  (文庫：集英社、6/25、368p.、¥880)</p>	<p><b>天の梯子</b> [エッセイ集]  ※(主婦の友社、12/8、170p.、¥880)  (文庫：集英社、'91/3/、¥362)</p>

1979	54	57	<p><b>毒麦の季</b> (光文社、10/25、236p.、¥980) (文庫：講談社、'83/7/15、249p.、\427)</p> <p><b>続・泥流地帯</b> ※(新潮社、4/10、240p.、¥980) (文庫：新潮社、'82/8/25、451p.、\590)</p> <p><b>岩に立つ</b> (講談社、5/24、251p.、¥880) (文庫：講談社、'84/10/、¥485)</p>	<p><b>孤独のとなり</b> [エッセイ集] ※(角川書店、4/30、286p.、\920) (文庫：角川書店、'83/9/10、266p.、\460)</p>
1980	55	58	<p><b>千利休とその妻たち</b> (主婦の友社、3/26、360p.、¥1,359) (文庫：新潮社、'88/3/、上巻:\514、下巻:\514) (新装版：'90/1/31、366p.、¥1,400)</p>	
1981	56	59	<p><b>海嶺</b> (朝日新聞社、4/20、上:336p.、\1,200、下:334p.、\1,200) (文庫：朝日新聞社、'83/10/、上:\460、中:\460、下:\583) (文庫：角川書店、'86/11/、上:\544、中:\544、下:\505) (新装版：主婦の友社、'89/12/22、555p.、¥2,000)</p>	<p><b>イヌ・キヌの生涯</b> [画文集] ※(講談社、10/22、98p.、\1,900) (文庫：講談社、'87/11/15、154p.、)</p> <p><b>わたしたちのイヌさま</b> (小学館、12/、¥1,796)</p>
1982	57	60	<p><b>青い棘</b> (学習研究社、4/1、381p.、¥1,200) (文庫：講談社、'86/5/、¥583)</p>	<p><b>わが青春に出会った本</b> (主婦の友社、2/22、231p.、¥1,000) (文庫：新潮社、'90/7/、¥427)</p>
1983	58	61	<p><b>水なき雲</b> (中央公論社、5/25、411p.、¥1,200) ※(文庫：中央公論社、'85/6/、\680)</p>	<p><b>藍色の便箋</b> (小学館、12/1、237p.、¥880) (文庫：小学館、'88/1/、\524) (文庫：小学館、'92/10/20、\760) (講談社、/、¥790)</p> <p><b>泉への招待</b> ※(日本基督教団出版局、9/10、302p.、¥1,200) (文庫：：光文社、'87/10/、¥408)</p> <p><b>美しく生きる</b> (PHP研究所、/、\750)</p>
1984	59	62	<p><b>愛の鬼才</b> ◎(新潮社、10/20、¥1,200) (文庫：新潮社、'86/7/、¥552)</p>	<p><b>北国日記</b> ※(主婦の友社、5/24、255p.、¥1,000) (文庫：集英社、'90/10/、¥448)</p>
1985	60	63	<p><b>カカトの街から</b> ※(北海道新聞社、11/20、241p.、¥1,100) (文庫：角川書店、'89/1/、\420)</p> <p><b>白き冬日</b> [エッセイ集] (学習研究社、4/20、201p.、¥980) (文庫：講談社、'91/9/、¥350)</p>	

1986	61	64	嵐吹く時も [歴史小説] (主婦の友社、8/30、381p.、¥1,400) (文庫：新潮社、'93/6/、上巻:\514、下 巻:\552) 草のうた (角川書店、12/20、248p.、¥980) (文庫：角川書店、'89/9/25、233p.、\420) 雪のアルバム (小学館、12/20、205p.、¥980) (文庫：'89/12/10、247p.、\480) (ライブラリー：小学館、'92/12/、\700) (小学館、/、¥466)	聖書に見る人間の罪 ※(新書版：光文社、3/30、258p.、¥689) (文庫：光文社、'89/2/、¥466)
1987	62	65	ちいろば先生物語 ◎(朝日新聞社、5/28、¥1,300) (文庫：朝日新聞社、'90/3/、\728) (文庫：集英社、'94/6/、上:\544、下:\544) 夕あり朝あり ◎(新潮社、9/20、304p.、¥1,150) (文庫：新潮社、'90/11、)	
1988	63	66		私の赤い手帖から [エッセイ集] (小学館、1/1、\220、\980) (文庫：小学館、'93/2/20、234p.、\770) 小さな郵便車 [エッセイ集] (角川書店、8/25、192p.、\680) (文庫：角川書店、'91/1/25、261p.、\420) 銀色のあしあと [対談集] (いのちのことば社、11/10、79p.、¥1,600) <b>Silvery Trace</b> (いのちのことば社、/、¥1,748)
1989	平成 1	67	あのホップラの上が空 (講談社、9/22、309p.、\1,200) (文庫：講談社、'92/10/15、350p.、\350) われ弱ければ (小学館、12/、¥1,068) (文庫：小学館、'93/4/20、282p.、\800)	それでも明日は来る [エッセイ集] (主婦の友社、1/25、236p.、¥1,200) (主婦の友社、/、¥1,204) (文庫：新潮社、'93/2/、¥476) 生かされてある日々 [エッセイ集] (日本基督教団出版局、9/20、251p.、 ¥1,200) (文庫：新潮社、'92/9/、¥427) あなたへの囁き ※(角川書店、11/5、\680) (新書版：11/5、221p.、\700) (文庫：角川書店、'92/1/25、219p.、\420) 現代の夫婦愛を語る (主婦の友社、89/12/、¥1,456)
1990	2	68		風はいずこより [エッセイ集] (いのちのことば社、9/1、117p.、¥1,200) (文庫：集英社、'93/10/、¥457)
1991	3	69		三浦 綾子—文学アルバム (主婦の友社、4/、) 祈りの風景 (日本基督教団出版局、9/30、¥1,900)

1992	4	70	母 (角川書店、3/10、212p.、\1,100) (文庫：角川書店、'96/6/25、244p.、\460)	心のある家 [エッセイ集] (講談社、12/10、235p.、\1,200) (文庫：講談社、'94/11/15、256p.、\427)
1993	5	71	風はいずこより (文庫：集英社、10/25、261p.、¥440)	夢幾夜 (文庫：角川書店、1/25、162p.、\340)
1994	6	72	銃口 (小学館、3/10、上:341p.、\1,600、 下:317p.、\1,600) (文庫：小学館、1、上巻:\619、下巻:\619)	明日のあなたへ [エッセイ集] (主婦と生活社、9/9、261p.、¥1,300) (文庫：集英社、'96/10/、¥505)
1995	7	73		初対教・祈りのかたち [対談集] (主婦の友社、2/14、227p.、¥1,600)
				この病をも賜ものとして 生かされてある日々 2 (日本基督教団出版局、10/30、272p.、 ¥1,400)
				小さな一歩から [エッセイ集] (講談社、11/21、243p.、\1,200) (文庫：講談社、'97/11/15、264p.、\448)
				希望・明日へ [対談集] (北海道新聞社、2/25、211p.、¥1,456)
1996	8	74	命ある限り (角川書店、4/30、288p.、¥1,400)	新しき鍵 [エッセイ集] (光文社、5/30、213p.、¥1,400) (文庫：光文社、'96/10/、\457)
1997	9	75		難病日記 (主婦の友社、10/10、286p.、¥1,700)
				愛すること生きること [講演集] (光文社、5/30、230p.、¥1,300)
				小さな一歩から (文庫：講談社、11/15、448)
				さまざまな愛のかたち (ほるぷ出版、11/15、¥1,500)
1998	10	76		言葉の花束(愛といのちの 770 章) (宍戸 芳夫 編、6/5、293p.、¥580)

和泉福音教会「教会図書通信」創刊号別刷付録（1998年3月29日発行）  
（◎：既存図書、※：寄贈図書）

## 「三浦 綾子 著作一覧」の解説（1）（1998年3月28日執筆）

1. この年表形式の一覧の出典は、次の2つです。
  - a. 「PRINTALL.TXT」（三省堂書店新宿店 小田急百貨店 10階）  
わずか10～15分の中に、237冊の書名、巻次・年次、出版社、著者、価格、出版年月日が無料でコンピューターからプリントアウトされました（A4判横書6頁）。
  - b. 『小さな一歩から』（三浦 綾子 著、講談社文庫、1991年11月15日第1刷発行）  
この本の末尾13頁にわたる年譜（掲載された雑誌・新聞の年月に至るまで記録されています。同社の文庫にだけある、貴重な資料です）。
2. この詳細な年表形式一覧を作成した動機は、次の3つです。
  - a. まず、書かれた順番に全部、自分で読んでみたい（今までに読んだものは、10～15冊くらい）。
  - b. 未信者の方々にお貸しして、あかしの武器として使いたい。
  - c. 教会に「三浦 綾子 文庫」を設置し、7作品あるという著作の237点の本をすべて収蔵して、近所の方々にも読んでいただきたい。
3. この一覧は、未完です。次号の教会図書通信発行までに、発行年月日や頁数等の漏れを補って完全な年表にするつもりです。

## 「三浦 綾子 著作一覧」の解説（2）（2007年5月23日執筆）

1. 1998年3月29日に「三浦綾子著作一覧」（1）を作成・発表してから9年の歳月が流れようとしています。その間に筆者の身边に大きな変化が生じました。その主要な者だけ列挙すると次の通りです。
  - a. 26年間奉職した学校法人東京キリスト教学園を2003年月日年3月末で定年退職し、4月から囑託で法人顧問に就任しました。
  - b. 1998年4月～2005年3月日本同盟基督教団八千代聖書教会牧師を務め、若い後任者の本多 守牧師と交代しました。
  - c. 2006年4月から同教団麻布霞町教会の牧師に就任し、今日に至っています。但し、本年4月から中年・熟年世代の小林伊佐美伝道師を主任担任&代表役員として迎え、協力牧師になっています。
  - d. 三浦綾子文庫関連では、定年の年に当時所属していた同教団和泉福音教会と牧会していた八千代聖書教会に退職金の一部でそれぞれの教会の文庫になかった三浦綾子の本を寄贈して三浦綾子文庫を設置しました。
  - e. また、平行して有志と一緒に2004年4月から「三浦綾子文庫の会」の設立準備に入り、6人の同志と一緒に隔月程度に会合を重ねて2006年10月30日に、三浦光世著『青春の傷跡』出版記念講演会を開催し、その席で「三浦綾子文庫の会」設立・披露を行いました。
  - f. 同様に平行して、2007年4月から牧会を始めた麻布霞町教会でも「三浦綾子文庫の会」の設立を呼びかけ、また会員の中の三浦綾子ファンの方々からの本の寄贈を受けて文庫を設置し、文庫の会も設立されて2006年6月22日から「三浦綾子の本を読む会」を教会で始める段階に至りました。
  - g. 麻布霞町教会の会員で教会図書委員で三浦綾子文庫会委員の田代喜十郎さんが次の本を元にして、1998年3月29日版の「三浦綾子著作一覧」と照合して正確な「三浦綾子著作一覧」をこのように作成して下さいました。考えてみると三浦綾子さんという方は不思議な方で、お書きになった本を読んだ方々を不思議に虜にして、聖書・教会・信仰に導かれるようにして下さいると同時に、私や田代さんのように三浦綾子の本を一人でも多くの方々に読んで頂いて福音をあかししようという情熱を掻き立てて下さる方です。
  - h. そのような三浦綾子さんの魅力に魅了された方々の一部がe. でご紹介した6人衆で、私の発想は「三浦綾子の本を日本全国の教会図書に入れて福音を証ししよう」でしたが、この方々の発想から「日本の学校と公共の図書館に三浦綾子の本を寄贈して読んでいただこう」と「第二・第三の三浦綾子を発掘しよう」という壮大なビジョンが生まれました。
  - i. こうしてこれら3つのビジョンのうちの第一番目の教会図書への三浦綾子の本の購入のためにこの一覧がお役に立つことを願っています。

（2007年5月23日加筆）